

2020年度 放課後等デイサービス 職員向けアンケート結果(全教室コメントまとめ)

1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	・ガイドライン通りの運用している。
2	職員の配置数は適切であるか	・基本的人員に加え、余剰人員も配置している。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・完全にバリアフリーとは言えないが、角に丸みのある家具を使用したり、お子様のおけが等に繋がるような箇所がないか予め用具等を使って保護している。 ・ビル入口に段差があるため、ベビーカーでお越しの利用者様に個別に対応している。
4	業務改善を進めるためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・始業時、終業時のミーティングを行い、お子様の情報を共有し、支援方法について話し合っている。 ・グループ活動については月1回振り返りと次月の予定について話合っている。
5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の以降等を把握し、業務改善に繋げているか	・改善が必要な部分については共有、対策を協議している。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・ホームページでのアップや個別にご返答させていただいている。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	・第三者による評価は行っていないが、連携している外部の専門家や行政からのアドバイスのもと業務改善を行っている。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・適宜行っているが、研修の機会をより増やしていきたい。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・担当職員が毎月取り組み状況について記録し、目標の達成度合や課題について児童発達支援管理責任者と共有している。その内容も踏まえ次の計画を作成している。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・主にビジョントレーニングの一環として「脳機能バランサー」等を活用し、現状把握に努めている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・係を決め、各リーダーを中心に月毎に振り返りと取り組み予定を共有している。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・グループ担当者での会議を実施し、他の教室で実施しているメニューでより良いものがあれば取り入れるようにしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	・お子様の家庭、学校の予定の把握に努め、課題の内容、強度を調整している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	・両方について個別支援計画書に盛り込んでいる。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・毎日実施しており、パートの職員には後日共有を行っている。 ・子どもの気になる点、支援方法についてはその都度話し合っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・情報の共有は全員で行っている。 ・毎日実施しており、パートの職員へは後日共有を行っている。 ・パート職員については勤務時間の関係で振り返りが十分とは言えない部分がある。今後改善していく。 ・子どもの気になる点、支援方法についてはその都度話し合っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・毎回の記録をとっており、改善の必要がある場合は職員間で話合っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・1カ月に1度取り組み状況の記録をまとめるとともに、半年に1度計画書の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・ガイドラインの内容に沿って、通常療育やイベントの内容を検討している。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・できるだけ児童発達支援管理責任者とお子様の療育担当の職員等で参画するようにしている。

21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	・保護者様にご協力いただき、年度初めには学校の年間予定表、月毎にお便り等をお持ちいただき、情報を得て、確認事項があれば個別に対応している。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	・現状そういった例はないが、もし利用のニーズがあった場合は、近隣の医師、看護師等のいる施設をご紹介するよう努めている。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・情報共有するようにしている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・必要に応じて対応している。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・必要に応じて連絡を取り合い、連携している。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・現状はニーズがないが、ニーズがあった場合は検討していく。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	・向山教室が中心に参加している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・連絡帳や電話やメール等でお子様の様子を共有させていただいている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・現状、ペアレントトレーニングは行っていないが、面談等や送迎時にご家庭での対応について助言を行うことはある。 ・必要な方には外部を紹介している。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時やご質問があった際にはその都度ご説明を差し上げている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・そのように努めている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・イベント等で保護者間の交流の橋渡しをしている。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・迅速に対応している。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・毎月発行して発信している。
35	個人情報に十分注意しているか	・書類の保管の仕方等、行政の連絡に従って運用している。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・お子様や保護者様に合わせた情報伝達の方法をとるように留意している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・通所していることを知られたくない人もいることに配慮している。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	・避難訓練は年2回実施している。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・年2回定期的な訓練を行っている。 ・BCPプランを作成し、運用を開始している。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・職員全員を対象とし、年2回の虐待研修を実施している。 ・入社間もない社員には外部研修への参加を促している。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・身体拘束についての確認事項を契約時にご説明差し上げている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・必要な方にはお医者様の指示書を頂いた上で対応を行っている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・作成し、全教室で共有している。